

フレンドリー

FRIENDLY



第11回ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入事業

令和8年5月7日～15日(8泊9日) 高校生13人 引率者2人



大垣市表敬訪問(市役所にて)



日本文化(茶道)体験(スイトピアセンターにて)



体育の授業に参加(大垣東中学校にて)



書道体験(大垣東高校にて)



大垣まつりの軸見学(本町)



歓迎会でホストファミリーと(スイトピアセンターにて)

5/7 大垣に到着し、ホストファミリーと対面
5/8 名古屋(名古屋城、大須、熱田神宮)
5/9、5/10 ホームステイプログラム(大垣まつりなど各家庭で交流)
5/11 日本文化体験(茶道、浴衣)、大垣城、柗作り体験
5/12 大垣東中学校、大垣まつりの軸見学、大垣市表敬訪問

5/13 和菓子作り体験、三輪酒造、カラオケ体験、
奥の細道むすびの地記念館、歓迎会
5/14 大垣八幡神社、大垣東高校
5/15 大垣を出発し、ベルギーへ帰国

No. **102**
2026
SEPTEMBER

地域で暮らす外国籍住民の方々の声を聞きました!!

アンケートとインタビューから見てきた、西濃地域での暮らし

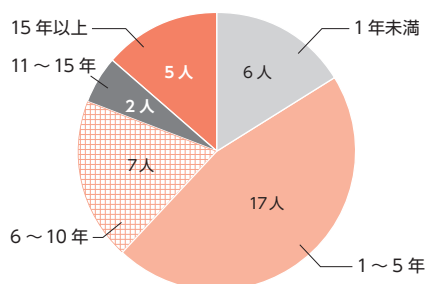


外国籍住民へのアンケート

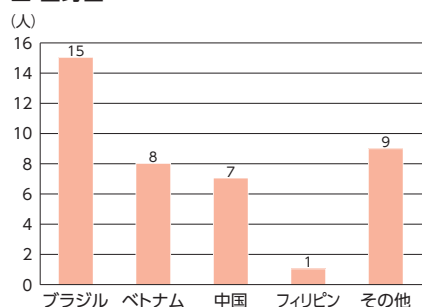
西濃地域には 14,500 人（令和 7 年 12 月末現在）、そのうち大垣市には 7,000 人（令和 8 年 7 月末現在）を超える外国籍の方が住んでいます。今回は、この地域で暮らし、大垣国際交流協会日本語を学習しているなかから 40 人に、日ごろの生活についてアンケートを実施しました。その結果を紹介します。

※一部の質問へ未回答あり

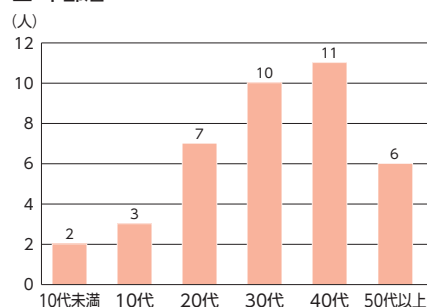
■ 岐阜県在住年数



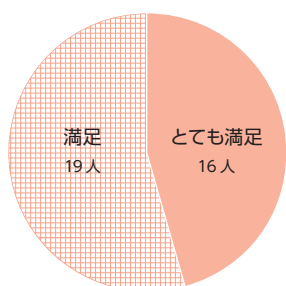
■ 出身国



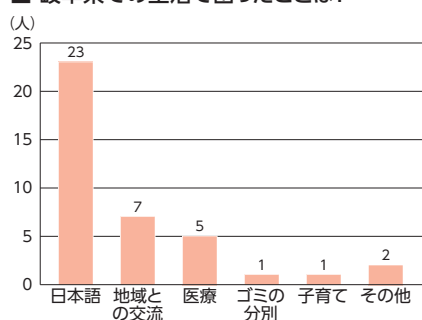
■ 年齢層



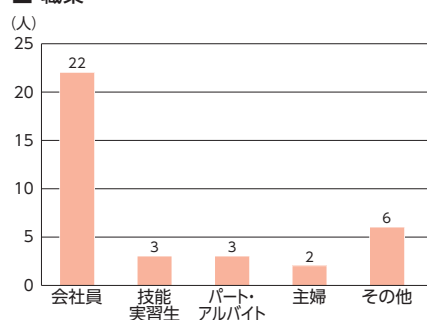
■ 岐阜県での生活に満足していますか？



■ 岐阜県での生活で困ったことは？



■ 職業



印象的なコメント

学ぶこと、新しい人と出会うこと、日本のイベントにもっと参加することを楽しみにしている

もっと友達がほしい

もっと日本語を話す機会がほしい

日本のまつりやイベントに参加したい。日本人たちが好き

色々な話を聞いたり、話をしたりするグループに参加したい

色々な国の文化を学べるイベントに参加したい

もっと日本人たちと交流したい。日本語と日本の文化をもっと学びたい

日本と中国の関係が悪くならないでほしい

もっとこの地域の事を知りたい

岐阜県で良かったことは？

- ・安全で平和。便利で機能的（交通機関、病院、市役所など）
- ・自然がきれい
- ・今まで住んでいた都道府県の中で、岐阜県が一番良かった
- ・サポートが充実していて、日本人もとても親切
- ・水がきれいで冷たい。また、音楽を楽しめるイベントも定期的に開催されている
- ・とても親切で礼儀正しい人がたくさんいる。自然が豊かで、心地よい環境である

趣味や毎日の楽しみは何ですか？

- ・学校の給食が楽しみ（ソフトめんが特に好き）
- ・野菜を作ること
- ・サッカーをすること、観戦をすること
- ・スポーツをすること、ギターを弾くこと
- ・音楽を聴くこと、アニメを見るのが好き
- ・夫と一緒に自転車に乗るのが好き
- ・家族と過ごすこと、この辺りのいろいろな場所を訪れること



外国籍住民へのインタビュー

アンケートだけではわからない、どんなきっかけで日本に来て、どんなことを感じて日本で生活しているのか、インタビューしてみました。

Q1

日本に来た
きっかけは？

Q2

岐阜県で好き
なところは？

Q3

困ったことは？

Q4

うれしかった
できごとは？

Q5

これから
西濃地域で
やってみたい
ことは？

グェントウイ リン さん (ベトナム)



- Q1.** 技能実習生として働き、お金を稼ぐために来日しました。また、日本という国を実際に見てみたいという思いもありました。日本語を身に付けて、将来はより良い仕事に就き、収入を増やしたいと考えています。
- Q2.** 日本料理が大好きで、特にうなぎ、寿司、ラーメン、うどんがお気に入りです。また、木々や池が多く、自然が豊かなところも魅力だと感じています。
- Q3.** 日本語の発音がうまく伝わらず、相手に理解してもらえなかったことがあり、困った経験があります。
- Q4.** 花火大会を見に行ったり、お祭りに参加したりして、日本ならではの文化を楽しめたことが嬉しかったです。
- Q5.** まだ日本語を勉強中ですが、ごみ拾いなどのボランティア活動に参加し、地域の皆さんの役に立ちたいと思っています。

カチア カモシタ アオヤギ さん (ブラジル)



- Q1.** 私は日系3世です。父は先に日本へ働きに来ましたが、家族への仕送りがありませんでした。そのため、母を支えたいという思いから、自分が日本へ働きに来て、母へ仕送りをすることを決めました。
- Q2.** 大垣は、地域の皆さんがとても優しく接してくれるところが好きです。また、ラーメンや水まんじゅうなどの食べ物がお気に入りです。大垣まつりや花火大会も毎年楽しみにしています。
- Q3.** 特にありません。
- Q4.** 娘が無事に小学校と中学校を卒業できたことです。学校でいじめにあわないかと心配していましたが、そのようなことはなく、安心しました。
- Q5.** もっと日本語が上達したら、病院でおじいちゃんやおばあちゃんの話し相手になるボランティアをして、地域の役に立ちたいと思っています。

地域のみなさんへ

今回のアンケートやインタビューから、「もっと日本の人たちと交流したい」、「もっと日本語を話す機会がほしい」、「地域での活動に参加したい」という回答が多く、地域の方との交流を望んでいることがわかりました。また、地域の皆さんの役に立ちたいという思いを持っていることもわかりました。

同じ地域で暮らす住民同士、お互いに理解を深め、誰もが住みやすいと思える大垣・西濃地域を一緒に作っていきたいと思います。みなさんは、地域に暮らす外国人住民にどんな声かけができそうですか？ またどんなかわりができそうですか？

大垣国際交流協会では、日本語教室や相談窓口などの外国人支援事業を行っています。お近くに日本語で困っている方がいらっしゃればぜひご案内ください。また、多文化交流イベントやボランティアの募集もしています。興味をお持ちの方は、是非お立ち寄りください。

地域在住外国人のための日本語学習支援

日本語教室で交通ルールを学ぶ

(8/2、学習者10人と支援者7人受講)

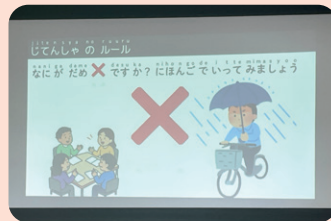
西濃地域の外国人住民を対象に、日本語学習支援を行っています。毎週日曜日に開催している日本語教室では、「日本語学習」を通して同じ地域に暮らす外国人と日本人がお互いを理解し合う機会となることを目指しています。料理やふるさとなど身近なテーマに加えて、今回は大垣警察署交通第一課の船越さんから、令和8年4月に導入された「自転車の交通ルール」について学びました。

日々の生活に密接し、安心安全に生活するためにとても重要なこととして、熱心に耳を傾けられ、たくさんの質問もありました。

情報弱者になりがちな外国人もルールを知り、誰もが安心安全に生活できるように、今後も日本語教室でいろいろなテーマの学習機会を作っていきます。



▲自転車のルールや反則金について教えてもらいました



▲交通ルールについて話しあいました

日本語学習支援ボランティア講座

(7/26～8/30 全5回、14人受講)

日本語教室やマンツーマン方式の日本語学習支援は、多くの市民ボランティアの方々の支援で成り立っています。外国人への日本語学習支援活動を始めるにあたって知っておきたいことを学ぶ講座を開催しました。



今後の予定

- 10/4～12/6 地域在住外国人のための日本語教室 (第2期)
- 10/7～12/16 フランス語基礎会話講座
- 10/11 地域在住外国人のための神輿体験 (十万石まつり参加)
- 10/11～12/13 英語基礎会話講座
- 1月 国際理解ワークショップ (第2回)
- 地域在住外国人のための日本語教室 (第3期)
- 日本語学習支援ボランティア講座 (第2期)
- 韓国語基礎会話講座
- ドイツ語基礎会話講座
- 3月 ボランティアの集い
- 機関誌「フレンドリー発行」
- 通年 マンツーマン方式日本語学習支援 (休館日を除き毎日)
- にほんごおしゃべりルーム (毎週日曜日)
- 地域在住外国人のための行政手続き相談 (毎月第1日曜日)
- ポルトガル語によるこころの相談 (毎月第2日曜日)
- 地域在住外国人のための法律相談 (毎月第4日曜日)
- 地域在住外国人のための和服体験 (毎月1回)

大垣市在住外国人の国籍別人数表

総数:7,119人(国籍数:52)
前号(令和8年3月号)との比較 163人増

	令和8年8月末	前号(令和8年3月号) 2月末人数	前号(令和8年3月号) との比較
ブラジル	2,150	2,198	-48
中国	1,164	1,157	7
ベトナム	866	860	6
フィリピン	846	826	20
ネパール	410	352	58
その他	1,683	1,563	120
合計	7,119	6,956	163

総人口に占める割合 4.6%

※令和8年8月末現在

編集後記

今回のフレンドリーでは、外国籍の方との共生について掲載しました。

現在大垣市には、外国籍の技能実習生や就労で来日された人や家族が7,000人を超えて在住しています。外国籍の方と共生し大垣市が暮らしやすい街であることを願って、アンケート、インタビューを実施しました。アンケートには、40人からの回答でしたが、満足している人が多い結果が得られたようです。

5月のベルギー・ナミュール市からの受入事業を表紙に掲載しました。和やかで有意義な時が、忘れられない記憶に残ったことと思います。

熊本の大地震、千葉の豪雨で被害にあわれた方には、心の安らぎが何時訪れるのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。また、被災地では外国籍の方がボランティアで活動していることを知りました。フレンドリーな世界でありますように。

フレンドリー No.102

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会
〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地
スイトピアセンター学習館2階
TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314
<https://www.i-oiea.jp/>
[E-mail]oiea@mb.ginet.or.jp



発行／2026年9月 印刷／サンメッセ株式会社

ホームページQRコード

